

## 私のスケッチブック

第117回

# 「ドナウ川を見下ろす、小さな町の家並み」

メルク修道院／ヴァッハウ渓谷／オーストリア



週末にウィーンを訪れ、爽やかな初夏の風に触発されて小旅行を考えます。ホテルのコンシェルジュ氏曰く「ヴァッハウ渓谷」が良いよ！都合よく近所のバスターミナルからの一泊観光のチケットも購入。

オーストリア北部に広がるドナウ川下流域は、世界遺産「ヴァッハウ渓谷」の景勝地としても有名で、36kmにも及ぶ渓谷と美しい葡萄畑が続きます。その最高の見どころの一つがメルク修道院です。

ベネディクト派の修道院ながら、18世紀バロック建築の至宝と呼ばれるに相応しい絢爛豪華な装飾の数々に驚かされます。えっ…修道院？寺院？宮殿？我が目を疑う建築物！いかに当時の教会の力が凄かったか。石畳みの中庭に続く回廊の美しさ！そして驚きは何と言っても図書館です。中世の手書きの書物も含めて10万冊の蔵書ですから驚嘆します。その上、この図書館には多くの「コウモリ」が

住んでいて、本に付く害虫を食べてくれるとか。

ところでこの作品の左手の教会が修道院ですか？と聞かれて…。メルク修道院は、ドナウ川とメルクの町並みを見下ろす大きな岩場にそびえていますから描けませんでした。よって、この作品は修道院のバルコニーから見える、教区教会の周りの可愛い町並みを描いています。

ヴァッハウ渓谷は美味しいワインで有名。自家製のワインも味わえてホイルゲ（ワイン酒場）の多い地域ですから、 Haupt広場のカフェ・レストランでランチを楽しみながら一杯如何ですか？

フランス・ブルボン王朝最後の王妃マリー・アントワネットが、ルイ16世に嫁ぐ道中にこの修道院に宿泊したと伝えられますから、当時から凄い建築物だったのでしょ。我々はメルクの船着き場から古城と葡萄畑の村 デュルンシュタインに向かいます。

延原 慎吾 (のぶはらしんご)

1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。  
[第71回 全国カレンダー展]に12度目の入選を果たし、その実力を発揮する。  
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>